

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和2年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ 令和元年度は、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

## □ 事業内容

### 木材を活用した相談室の家具等の整備事業

- ・ 保健福祉センター内の相談室において、整理棚・収納付ベンチ・フローリングブロック等の木製品を整備した。

【事業費】1,440千円（うち譲与税1,440千円）

【実績】上部壁面付3段オープン棚 2台  
 上部壁面付2段オープン棚 2台  
 3段オープン棚 1台・収納付ベンチ 2台  
 掲示ラック 3台 ・フローリングブロック 160枚



## □ 事業スキーム

一般競争入札

## □ 工夫・留意した点

- ・ 子どもや保護者等で利用する相談室に配置するため、木材の温かみを感じ、子どもが触れても問題のない材質や塗料などの安全面に留意した備品を選定した。
- ・ 施設を利用する子どもや保護者等が自由に木製品に触れ、製品を通して、木の良さを実感し、自然や環境への興味・関心を高め、国産木材利用の普及啓発を行った。

## □ 基礎データ

①令和2年度譲与額	232,924千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より